

第64回（平成23年度）

社団法人 福島県放射線技師会総会資料

期 日 平成23年5月21日（土）13:30～20:00

平成23年5月22日（日）9:00～11:00

会 場 郡山ユラックス熱海

郡山市熱海町熱海2丁目148-2

TEL 024-984-2800

プログラム

平成23年5月21日（土）

- | | |
|-------|--|
| 13:30 | 受付 |
| 14:10 | 学術委員会分科会活動内容発表会 |
| 15:15 | 開場 一般公開 |
| 15:25 | 特別講演 「死亡時画像病理診断 (Ai) について」
講師： 国際医療福祉大学 保健医療学部
放射線・情報科学科 樋口清孝 先生 |
| 16:25 | 終了 |
| 16:30 | 総会 |

* 総会終了後、各分科会ごとの情報交換会が予定されています。
日頃疑問に思うこと、聞きたいことを整理して参加しましょう。

平成23年5月22日（日）

- | | |
|-------|---------------|
| 9:00 | 分科会活動方針に関する討論 |
| 11:00 | 全体集約 解散 |

総会資料は総会会場に用意してあります。

総会次第

- 司 会 浜支部
- 一、開会の辞 副会長 遊佐 烈
- 二、会長挨拶 会 長 鈴木憲二
- 三、表 彰 永年勤続（20年・30年）
- 四、総会運営ならびに資格審査委員選出
- 五、議長選出
- 六、議事録署名人選出
- 七、書記選出
- 八、資格審査報告
- 九、議事
- 第1号議案 平成22年度事業報告について
 - 第2号議案 平成22年度決算報告について
 - 第3号議案 平成22年度監査報告について
 - 第4号議案 平成23年度事業計画案について
 - 第5号議案 平成23年度予算案について
 - 第6号議案 その他
- 十、議長・書記解任
- 十一、役員改選 選挙管理委員長報告
- 十二、新旧役員挨拶
- 十三、閉会の辞 副会長 斎藤康雄

三、平成22年度表彰者名簿

1. 社団法人日本放射線技師会 永年勤続（50年）
該当者なし

2. 社団法人日本放射線技師会 永年勤続（30年）

佐藤 孝則	県立医大附属病院	(県北)
村上 和幸	済生会川俣病院	(県北)
橋本 哲夫	梁川町国民健康保険病院	(県北)
岩東 正人	白河厚生総合病院	(県南)
新里 昌一	太田総合病院附属太田西ノ内病院	(県南)
大竹 久人	はせがわ整形外科クリニック	(会津)
平塚 幸裕	県立会津総合病院	(会津)
池田 孝男	竹田総合病院	(会津)
古内 孝紀	渡辺病院	(浜通)

3. 社団法人福島県放射線技師会 永年勤続（20年）

県北支部		
阿部 雅浩	福島県保健衛生協会	
遊佐 雅徳	県立医大附属病院	
堀江 常満	大原医療センター	
小島 昭一	済生会福島総合病院	
県南支部		
亀山 欣之	福島県保健衛生協会県南地区センター	
金内 達也	てちがわら内科	
小板橋健一	太田西ノ内病院	
鍵谷 勝	総合南東北病院	
会津支部		
荒井美奈子	福島県保健衛生協会会津地区センター	
浜通支部		
菅原 正志	福島労災病院	
柴田 盛也	こうじま慈愛病院	
佐藤 智昭	公立相馬総合病院	

4. 学術奨励賞

平成22年度学術奨励賞

64列CTを用いたシャントCTAの画質向上への取り組み

財団法人 星総合病院 放射線科 遠藤 潤、佐久間守雄

透視業務被ばく低減（患者、術者、周辺スタッフへの被ばく低減の試み）

太田総合病院附属太田西ノ内病院 林 伸也、大原亮平、出村 渉

シネ研学術奨励賞

該当者無し

四、総会運営ならびに資格審査委員選出

4名 ()	浜通支部
()	県南支部
()	県北支部
()	会津支部

五、議長選出

2名 ()	浜通支部
()	県南支部

六、議事録署名人

2名 ()	浜通支部
()	浜通支部

七、書記選任

2名 ()	浜通支部
()	浜通支部

八、資格審査報告

定款24条（定足数）

会議は、総会においては正会員総数の過半数以上、理事会においては理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

正会員数	633	名
委任状出席者数		名
総会出席者数		名

第 1 号議案 平成 22 年度事業経過報告

総括

2009 年の夏に民主党へ政権交代があつてから早 2 年が経とうとしているが経済及び外交政策の成果が出なかつたため 2010 年の参議院選挙により民主党が惨敗した。また積極的な経済対策が打ち出せなかつたため経済危機は未だ続いている。我々診療放射線技師に直接関係する 2010 年の診療報酬改定でデジタルエックス線撮影料の新設、コンピューター断層撮影診断料の見直しが行われたが従来のアナログ撮影料は減額され、平成 21 年末までの経過措置で加算されていたデジタル映像化処理加算は廃止された。コンピューター断層撮影診断料の見直しでは 16 列以上のマルチスライス型の機器による撮影では増額されたがそれ以下の装置においては減額となった。医療界においては 2009 年 7 月に臓器移植法が改正され家族の同意による脳死移植が可能となり改正前より多くの臓器提供があつた。また医師不足による診療科の廃止等、医療そのものの本質が崩壊していく状況は以前から続いており、今後の医療制度の建て直しが急務であると考えられる。このような振れはしばらく継続するものと思われ、医療制度や放射線技師の教育制度など広範囲の情報に注意深い関心を寄せる必要があり、福島県放射線技師会の役割は重要なものとなっている。

2011 年 3 月 11 日に東北地方三陸沖で発生した M9 の大地震は日本国内観測史上最大のものとなり建造物の倒壊のみならず津波により死者及び行方不明者が 2 万人を超える震災となった。翌 3 月 12 日は津波により福島第 1 原子力発電所の原子炉冷却機能喪失のため原子炉建屋が水素爆発を起こし放射性物質のヨウ素、セシウムが放出され、20km 圏内住民に避難指示が出された。福島県内各地に避難所が設置され避難住民の緊急被ばくスクリーニングが開始された。3 月 13 日より福島県放射線技師会からスクリーニング要員の派遣が始まり各避難所及び常設のスクリーニング会場にて行い 3 月 31 日までに延べ人数約 250 人の派遣を行った。

このような情勢の中、平成 22 年度は福島県放射線技師会会員の地域医療への貢献ならびに緊急被曝医療を主とした防災活動への参加や自治体主催行事への参加などによる放射線技師の社会貢献において一定の成果を得た。

以上、平成 22 年度は役員諸氏の犠牲的活動により着実に事業が施行され概ね順調な推移であつた。職場情勢の厳しい折りであることから、役員諸氏の厚意に対し深甚の謝意を表するとともに更なる御協力を御願ひしたい。また、福島県放射線技師会の会員としてのメリットがより明確に理解できるよう、的確な判断材料となる情報収集を幅広く行ひ発信したい。

会務報告

月日	活動内容	開催地
2010年4月2日	平成21年度福島県放射線技師会第5回理事会	福島医大 放射線部
4月12日	平成21年度福島県放射線技師会会計監査	福島医大 放射線部
4月17日	全国会長会議	女性と仕事の未来館
4月21日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
4月21日	県南支部総会	ビッグアイ会議室
4月23日	県北支部総会	福島テルサ
4月24日	会津支部総会	ホテル ニューパレス
4月24日	浜通り支部総会・学術発表会	リフレ富岡
5月15日～16日	福島県放射線技師会総会	東山グランドホテル
5月27日	第1回 会津乳房撮影研究会	竹田綜合病院 放射線治療室
5月28日	第32回会津MRI研究会	山鹿クリニック2階会議室
6月3日	第1回 県北支部理事会	保健衛生協会
6月5日	第68回日本放射線技師改定期総会	科学技術館サイエンスホール
6月9日	第1回 県南支部理事会	ビッグアイ会議室
6月18日	平成22年度福島県放射線技師会第1回理事会	福島県立医科大学附属病院
6月19日	CTビギナーズセミナー	福島テルサ
6月22日	いわき画像研究会	いわき市立保健センター
6月25日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
6月26日	福島県「緊急被ばく医療初級講座」	福島労災病院 大会議室
6月26日	福島県臨床画像研究会	福島テルサ
7月2日～4日	放射線技師総合学術大会	東京国際フォーラム
7月3日	全国会長会議	日本放射線技師会 事務所
7月8日	画像診断・病診連携懇話会	福島テルサ
7月10日	東北MR技術研究会・福島県MRI技術研究会	コラッセ福島
7月17日	福島県乳腺画像研究会	ビッグパレット
7月23日	会津画像研究会	山鹿クリニック会議室
7月31日	県南支部サマーセミナー	ビッグアイ 大会議室
8月10日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
8月28日	第2回浜通り支部 役員会	リフレ富岡
8月28日	浜通り支部 夏期学術研修会	リフレ富岡
8月31日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
9月4日	いわき地区 健康祭り	いわき市文化センター
9月4日	消化器撮影研究会	ビッグパレット
9月4日～5日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2010 イン福島	福島県立医科大学 陸上競技場
9月8日	第2回県北支部理事会	保健衛生協会
9月11日	東北CT技術研究会	フォレスト仙台
9月11日～12日	福島マンモグラフィ技術講習会	福島県立医科大学附属病院
9月18日	福島県画像研究発表勉強会	福島テルサ
9月18日	県北支部 暑気払い	福島テルサ

9月24日	相双画像診断勉強会	ロイヤルホテル丸屋
9月25日	福島市健康フェスタ2010	福島市保健福祉センター
9月25日	福島県「緊急被ばく医療基礎講座I（除染・搬送コース）」	福島県立医科大学附属病院
9月26日	第1回治療分科会	南東北がん陽子線治療センター
9月26日	「第26回 会津若松市健康まつり」	会津若松市文化センター
10月2日	MDC Tカンファランス	杉妻会館
10月3日	保健・福祉フェスティバル郡山2010	郡山総合体育館
10月8日	会津MRI研究会	竹田綜合病院山鹿クリニック
10月17日	ピンクリボン in 郡山（2010）	ビッグアイ
10月22日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
10月22日	平成22年度福島県放射線技師会第2回理事会	福島県立医科大学附属病院
10月23日	第11回いわき地区画像研究会	クレールコート
10月26日	医療情報通信技術セミナー（MICS）	ビッグアイ
10月30日	東北地域会長会議	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
10月31日	福島県放射線技師学術大会	福島医大 講堂
11月2日	福島県緊急被ばく医療会議	福島県原子力災害対策センター
11月5日	第75回会津画像研究会	竹田綜合病院 会議室
11月13日	日本放射線技師会臨時総会	科学技術館サイエンスホール
11月17日	第2回県南支部理事会	ビッグアイ会議室
11月18日	第2回会津支部理事会	竹田綜合病院
11月24日	第3回県北支部理事会	保健衛生協会
11月26日	福島県原子力防災訓練	大熊町、双葉町、福島医大
11月27日	第3回消化器内視鏡相双セミナー	南相馬市民文化会館（ゆめはっと）
12月5日	いわき市民公開講座「2010 いわき乳腺疾患フォーラム」	いわき明星大学大講義室
12月15日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
2011年1月9日	全国会長会議	女性と仕事の未来館
1月22日	福島県画像技術研究会	福島テルサ
1月28日	第76回会津画像研究会	山鹿クリニック
1月29日	県南支部新年勉強会	ビッグアイ
1月29日	県南支部新年交流会	ビッグアイ
2月1日	第3回浜通り支部 役員会	リフレ富岡
2月7日	公益法人申請打ち合わせ	福島県庁 医療看護課
2月8日	第12回いわき地区画像研究会	いわき市立保健センター
2月11日～12日	第23回日本消化器画像診断情報研究会	コラッセ福島
2月18日	平成22年度福島県放射線技師会第3回理事会	福島県立医科大学附属病院
2月19日	学術講演会	サンルートプラザ福島
2月19日	CT 勉強会	福島テルサ
2月19日	県北支部 新年交流会	福島テルサ

2月25日	相双画像診断勉強会	ロイヤルホテル丸屋

1、平成22年度総会

開催日時 平成22年5月15日(土)～16日(日)

開催場所 「東山グランドホテル」 会津若松市

会員総数 625名中 487名(うち委任状 403名)の出席で開催された。提案された議題は原案通り可決された。

特別講演 「災害活動現場の現状」

講師 会津若松消防本部警防グループ 消防指令 真部文夫氏

2、福島県放射線技師学会の開催

開催日時 平成22年10月31日(日)

会場 福島県立医大講堂

県会員から39演題のほか、ランチョンセミナーなど、143名の参加登録の下に開かれた。

3、福島県生活習慣病従事者指導講習会

今年度は胃がん部門を独自事業として、乳がん部門を福島県の委託事業として実施した。

A、乳がん検診(マンモグラフィー)従事者研修会

開催日時 平成22年 9月11(土)～12(日)

会場 福島県立医大附属病院放射線部

今年度も、マンモグラフィー精度管理中央委員会の認定講習として実施し、県内から34名受講した。講習後、認定試験が行われた。

また、更新者講習も平行して行われた。今年度は胃がん部門を独自事業として、乳がん部門を福島県の委託事業として実施した。

B、胃がん検診従事者研修会

開催日時 平成22年9月4日(土)

会場 ビックパレットふくしま

消化器研究会と合同で開催された。参加者58名 会員58名。

グループディスカッション(撮影法、画質などについて)

1グループ「間接X線」福島県保健衛生協会 千葉雄二、亀山欣之

2グループ「I.I-DR 1」 公立相馬総合病院 高玉良夫、
わたり病院 渡辺進

3グループ「I.I-DR 2」 北福島医療センター 松井大樹、

小野田病院 村上薫、柘記念病院 佐藤美千男

4グループ「FPD」 福島労災病院 山崎武、
 坪井病院 下山田明
 教育講演「上部消化管造影検査における撮影法と読影法のポイント」
 講師 淀川キリスト教病院 吉本 勝 先生
 特別講演 「検診受診向上の動向および胃の健康度診断」
 講師 山形県庄内保健所 庄内保健所長 松田 徹 先生

4、 原子力防災関連事業

平成22年 9月25日 福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ」
 (除染・搬送コース)
 平成22年11月26日 福島県原子力防災訓練

5、 全国放射線技師総合学術大会

平成22年7月2～4日、東京国際フォーラムにて開催された。
 永年勤続表彰で50年表彰 1名、30年表彰 7名が受賞した。

6、 分科会・研究会および部会の活動

①治療分科会

福島県放射線治療研究会 平成22年09月26日(南東北がん陽子線治療センター)

②消化器分科会

福島県消化器撮影研究会 平成22年09月04日(ビッグパレット)

③乳房分科会

福島県乳腺画像研究会 平成22年07月17日(ビッグパレット)

④CR分科会

福島県CR研究会 平成23年01月22日(福島テルサ)

⑤MR分科会

福島県MRI技術研究会 平成22年07月10日(コラッセふくしま)

⑥CT分科会

福島県画像技術研究会 平成23年01月22日(福島テルサ)

福島県CTビギナーズセミナー 平成22年06月19日(福島テルサ)

⑦その他の研究会

福島県臨床画像研究会 平成22年06月26日(福島テルサ)

⑧福島県放射線管理士部会

緊急被ばく医療講習会への参加

福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ」 平成22年09月25日
 (除染搬送コース)(6名参加)

原子力防災訓練関連への参加

福島県原子力防災訓練（9名参加）

平成22年11月26日

放射線利用に関する啓もう活動

いわき地区 健康祭り

平成22年09月04日

福島市「健康フェスタ」

平成22年09月25日

会津若松市「第26回健康まつり」

平成22年09月26日

郡山市「ファミリーフェスタ」

平成22年10月03日

7、各委員会活動

①総務企画委員会

会員数の増員を目指す広報活動及び調査活動→各種講習会の企画

②学術委員会

福島県放射線技師学術大会 各種研修会の開催など

福島県放射線技師学術大会プログラム・抄録のホームページへの掲載

③広報編集委員会

ニュース・会報の発行（10項 参照）

④精度管理委員会

福島県内医療機関に於ける「PACS導入率調査」に関するアンケート内容を実施した。

⑤調査委員会

『放射線技師の定数の基準は？』に関してアンケート実施し結果を平成22年度福島県放射線技師会学術大会で報告をした。併せてホームページと会報No47に掲載。

⑥ネットワーク委員会

福島県放射線技師会のホームページの更新

一般向けホームページの作成。

会員向けホームページの更新。

学術用抄録のサーバーへの保存。

⑦財務委員会

今年度会費納入率は91%であった。

遅延は同じ方の場合が多く、事務労力簡素化のためご協力頂きたい

⑧生涯教育委員会

a.) アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動。

臨床技術能力資格のための講習会の開催

生涯学習セミナー {MR検査} の協力

b.) 生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発

県独自のポイント制度の確立。

生涯学習システムへの日放技ポイント登録のためのフォーマットの作成および申請手順の決定。

c.) 日放技の教育委員要件を満たす教育委員の養成

8、市町村健康事業への参加

いわき地区 健康祭り	平成 22 年 09 月 04 日(土)
福島市健康フェスタ 2010	平成 22 年 09 月 25 日(土)
会津若松市健康まつり	平成 22 年 09 月 26 日(日)
郡山市ファミリーフェスタ 2010	平成 22 年 10 月 03 日(日)
いわき地区市民公開講座	平成 22 年 12 月 05 日(日)

9、他事業への参加

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2010 イン福島

平成 22 年 9 月 4 日～5 日

10、ニュース・会報の発行

平成22年度 (社) 福島県放射線技師会ニュース

120号	平成22年	5月	1日発行	巻頭言	遊佐副会長担当	浜通支部 (今野)
121号	平成22年	7月10日	発行	巻頭言	鈴木会長担当	県北支部 (池田)
122号	平成22年	9月15日	発行	巻頭言	斎藤副会長担当	浜通支部 (村上)
123号	平成22年	11月25日	発行	巻頭言	遊佐副会長担当	浜通支部 (今野)
124号	平成23年	1月	1日発行	巻頭言	鈴木会長担当	県南支部 (本間)
125号	平成23年	3月	1日発行	巻頭言	斎藤副会長担当	県北支部 (池田)

会報の発行 平成 23 年 3 月 第 47 号

11、庶務報告

正会員数	平成 22 年度当初	625 名
	平成 22 年度 末	633 名
	入会 (転入含む)	31 名
	退会 (転出含む)	23 名
名誉会員数		11 名
賛助会員数		28 社

第2号議案 平成22年度 決算報告

平成22年度決算書 (収入の部)

平成22年4月1日～平成23年3月31日

勘定科目		予算	決算	差額	備考
款	項目				
	特定資産運用益	5,000	23,457	-18,457	
	特定資産受取利息	5,000	23,457	-18,457	
	受取会費	7,190,000	6,670,000	520,000	
	正会員受取会費	6,350,000	5,890,000	460,000	* 1
	賛助会員受取会費	840,000	780,000	60,000	H22年度(26社)
	事業収入	700,000	1,559,000	-859,000	
	出版広報事業広告収益	200,000	140,000	60,000	会報、抄録集広告
	学術研修事業広告収益	400,000	450,000	-50,000	
	研修事業収益	100,000	879,000	-779,000	学術講演会・マンモ技術講習会
	日放技業務委託分担金	0	90,000	-90,000	
	受取補助金等	250,000	0	250,000	
	受取福島県助成金	250,000	0	250,000	
	受取寄付金	10,000	0	10,000	
	雑収益	3,000	985	2,015	
	受取利息	2,000	985	1,015	
	雑収入	1,000		1,000	
	繰入金	10,000	10,000	0	
	特定資産振替額	10,000	¥10,000	0	シネ研学術奨励賞
	預り金	0	1,229,000	-1,229,000	
	当期収入合計 (A)	8,168,000	9,492,442	-1,324,442	
	前期繰越収支差額	4,666,410	4,666,410	0	
	収入合計 (B)	12,834,410	14,158,852	-1,324,442	

*	会員	563	¥10,000	¥5,630,000
	終身	2	¥10,000	¥20,000
	新人	24	¥10,000	¥240,000
		589		¥5,890,000

平成22年度 決算報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

勘定科目	予算	決算	差額	備考
款 項				
目				
事業費	7,570,000	3,827,743	3,742,257	
学術研修事業費	3,700,000	2,260,250	1,439,750	
学術発表開催費	1,300,000	809,608	490,392	福島県放射線技師学術大会
表彰費	300,000	0	300,000	表彰費は総会費の中で処理
生活習慣病従事者講習	500,000	1,157,782	-657,782	マンモ技術講習会
学術委員会専門分科会	700,000	140,000	560,000	分科会助成金
学術研修費	900,000	152,860	747,140	学術講演会
出版広報事業費	1,600,000	856,990	743,010	
会報	800,000	441,000	359,000	会報47号
ニュース	500,000	236,250	263,750	放技ニュース120～125号
通信運搬費	300,000	179,740	120,260	会報・ニュース送料
啓蒙普及事業費	2,150,000	604,303	1,545,697	
放射線相談コーナー	150,000	79,290	70,710	健康フェスタ
パンフ・パネル展	500,000	8,175	491,825	
一般講演会	300,000	58,224	241,776	講演会講師謝礼等
調査指導費	100,000	22,450	77,550	調査委員会
災害教育訓練費	600,000	62,070	537,930	動産保険料・線量校正
ホームページ維持費	200,000	66,675	133,325	インターネット接続料
広報・広告費	300,000	307,419	-7,419	新聞広告等・リレーフォーライブ関連
分担金	120,000	106,200	13,800	
東北地区技師会	120,000	106,200	13,800	会員数×200円
管理費	3,650,000	2,020,462	1,629,538	
人件費	500,000	406,000	94,000	
給与	500,000	406,000	94,000	公認会計費用・臨時雇用費等
福利厚生費	200,000	94,751	105,249	
厚生費	200,000	94,751	105,249	弔電・香典・花環等
会議費	400,000	661,401	-261,401	
総会費	300,000	574,418	-274,418	会場使用料・表彰費等
理事会費	50,000	81,343	-31,343	
委員会費	50,000	5,640	44,360	
旅費交通費	1,450,000	409,720	1,040,280	
理事会旅費	600,000	385,880	214,120	
役員旅費	250,000	7,000	243,000	
委員会旅費	600,000	16,840	583,160	
需用費	1,000,000	416,024	583,976	
事務消耗品費	300,000	221,829	78,171	
通信運搬費	250,000	129,990	120,010	
什器備品費	300,000	0	300,000	
雑費	150,000	64,205	85,795	
その他管理費	100,000	32,566	67,434	
事務所管理費	100,000	32,566	67,434	
特定預金支出	955,000	1,023,457	-68,457	
事務所拡充積立金	805,000	820,724	-15,724	
学術奨励積立金		1,554	-1,554	
減価償却積立金	150,000	201,124	-51,124	
学術奨励基金	0	55	-55	
預り金	0	1,229,000	-1,229,000	
備品取得支出	0	0	0	
予備費	659,410	693,367	-33,957	
当期支出合計 (C)	12,834,410	8,794,029	4,040,381	
当期収支差額 (A) - (C)	-4,666,410	698,413	-5,364,823	

当期収入合計 (A)

9,492,442

前期繰越収支差額

4,666,410

収支差額 (B) - (C)

5,364,823

収入合計 (B)

14,158,852

単年度収支差額 (A) - (C)

698,413

当期支出合計 (C)

8,794,029

平成22年度積立金会計報告
事務所拡充積立金 (定期預金)

平成22年4月1日～平成23年3月31日

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥11,756,994	¥11,757,718	¥724	
前期繰越収支差額	¥10,936,994	¥10,936,994	¥0	
繰出金収入	¥800,000	¥800,000	¥0	
寄付金収入	¥0		¥0	
雑収入	¥20,000	¥20,724	¥724	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥11,756,994	¥11,757,718	¥724	

学術奨励金積立金 (定期預金)

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥2,560,301	¥2,555,855	¥4,446	
前期繰越収支差額	¥2,554,301	¥2,554,301	¥0	
繰出金収入	¥0		¥0	
寄付金収入	¥0		¥0	
雑収入	¥6,000	¥1,554	¥4,446	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥2,560,301	¥2,555,855	¥4,446	

減価償却積立金 (定期預金)

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥953,848	¥999,972	¥46,124	
前期繰越収支差額	¥798,848	¥798,848	¥0	
繰出金収入	¥150,000	¥200,000	¥50,000	
寄付金収入	¥0		¥0	
雑収入	¥5,000	¥1,124	¥3,876	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥953,848	¥999,972	¥46,124	

学術奨励基金 (普通貯金)

科目	予算	決算	差額	備考
収入の部	¥231,469	¥231,324	¥145	
前期繰越収支差額	¥231,269	¥231,269	¥0	
繰出金収入	¥0		¥0	
寄付金収入	¥0		¥0	
雑収入	¥200	¥55	¥145	
支出の部	¥10,000	¥10,000	¥0	
繰入金支出	¥10,000	¥10,000	¥0	
積立金残高	¥221,469	¥221,324	¥145	

第3号議案 平成22年度 監査報告

平成23年4月20日

会 計 監 査 報 告 書

(社)福島県放射線技師会
会長 鈴木 憲二 殿

(社)福島県放射線技師会定款第34条に基づき、平成22年度の監査を実施した結果、各予算の執行は適正に処理されており、預金通帳・領収書・会計帳簿等について正確であることを認めます。

実 施 期 日：平成23年4月20日

実 施 場 所：福島市 杉妻会館

立 会 者：鈴木 憲二会長 伊藤 陸郎事務局長

阿部 郁明会計事務担当者

(社)福島県放射線技師会

監 事 片倉 俊彦 印

外部監事 高橋 宏和 印

第4号議案 平成23年度事業計画（案）

総括

3月11日、東北地方三陸沖で発生したM9の大地震の津波により福島第1原子力発電所の原子炉建屋が水素爆発を起こし放射性物質のヨウ素、セシウムが放出され、20km圏内住民に避難指示が出された。そのことにより福島県内各地に避難所が設置され避難住民の緊急被ばくスクリーニングが開始され、スクリーニング要員として派遣した会員は3月31日までに延べ人数約250人となり、4月に入ってもスクリーニング人数は減少傾向にあるものの、福島第1原子力発電所の原子炉格納容器の内部の状況が見えない現状では収束する時期についても推定することは難しい。また計画的避難区域と緊急時避難準備区域が設定され20km圏内住民の一時帰宅が可能となれば、多くの住民がスクリーニングを行うこととなり福島県放射線技師会としても更なる派遣を考えざるを得ない。今回のスクリーニングにおいて技師会会員による住民への放射線についての説明が適切で安心して帰られる住民が多いとの話を福島県庁、各市町村関係者から聞いており、専門家としての役割を果たしたものと自負しております。

このような事態において私達医療従事者が行い得る事は唯一、患者さんと医療従事者の信頼関係を確立し、安心して医療を受けて貰うことである。すなわち、医療技術者としての使命忘れず、誇りと自信を持って患者さんに接することである。このためには裏付けとなる放射線診療技術の高揚は必須であり、本年度も引き続き学術大会、学術講演会を初めとする学術活動を行う。

また、法人に関する法律の施行により従来の公益法人としての活動を再度承認させる移行申請を今年度も行う。今までも福島県放射線技師会は県内医療に貢献するため放射線技師の資質の向上を目的としていろんな事業を行ってきた。放射線技師が最新の技術、豊富な知識を持ち個々にレベルアップすれば県民に対する医療レベル向上へと期待されるからである。昨年度より多くの県民が参加できる事業として、福島県放射線技師会総会時の特別講演、福島県放射線技師会学術大会の講演を県民に公開してきた。

最後に、福島県放射線技師会の目的は放射線の専門技術者としての社会貢献である。今まで行ってきた集団検診の啓もうや原子力災害対策に対する協力などもその一環である。地域住民が過度に放射線を怖がることなく、医療放射線や原子力の有用性を享受できるよう放射線技師の専門的知識を駆使した啓もう活動や原子力災害時対応のための知識習得ならびに実務訓練に努力する。

福島県放射線技師会の個性を發揮し、県民への貢献を果たすため会員の総力を結集し安定した組織として活動する。

1. 平成23年度総会
平成23年5月21・22（土・日）「郡山ユラックス熱海」 郡山市
特別講演 「死亡時画像病理診断（Ai）について」
講師： 国際医療福祉大学 保健医療学部
放射線・情報科学科 樋口清孝 先生
2. 福島県放射線技師総合学術大会の開催
平成23年11月6日（日） 福島市 福島医大講堂
3. 各種委員会活動
 - ①総務企画委員会
県内放射線技師実態調査。会員数の増員を目指す広報活動及び調査活動。
 - ②学術委員会
福島県放射線技師学術大会の開催
各種研究会・研修会・講演会の支援活動
 - ③広報編集委員会
ニュース・会報の発行
 - ④精度管理委員会
昨年度に起きた福島第1原発事故で多くの放射線測定器が必要となった。
県内医療施設における放射線測定器についての保有台数の把握及び管理に
ついて「県内医療施設の放射線測定器の把握と管理」との内容で調査を実施。
 - ⑤調査委員会
平成23年度はアンケートテーマ「会員の本会に対する意識」の内容でアンケート用紙作成。
平成24年度は4月アンケート発送、6月回収、分析、11月技師学術大会で
発表、併せて会報及び技師会ホームページ掲載
 - ⑥ネットワーク委員会
ホームページの更新
会員及び県民に対して情報の発信
ネット会議開催の可能性の検討
 - ⑦財務委員会
今年度より会費の支払いが日放技と合算された振込用紙による会費納入と
なったが、コンビニからの支払が出来るようになり会員にとっては支払い
易い環境となったため方法を周知し、会費納入率のアップを図る。
特に、前年度会費未納者には注意を喚起する。
 - ⑧生涯教育委員会
 - a.) アドバンスド放射線技師格取得のための啓発活動。

- b.) 生涯学習システムの各種認定更新カウント取得の啓発
 - c.) JART の教育委員を福島県放射線技師会会員から養成する
 - d.) 放射線管理士、機器管理士の更新手続きの啓もう
 - e.) 日放技主催の「診療放射線技師基礎講習」への参加
 - f.) 入会促進教育セミナーへの講師派遣
4. 緊急被ばく医療防災対策への協力
- 県主催の緊急時医療活動訓練に参加する
 - 緊急被ばく医療講習会への会員派遣
 - 福島県原子力防災行政への参加協力
 - 福島県緊急被ばく医療対策連絡会議
5. 胃がん検診従事者研修会の開催
6. 乳がん検診従事者研修会の開催
7. 専門分科会・各種研究会および部会の活動
- 6分科会（治療、消化器、乳房、CR、MR、CT），1部会（放射線管理士）

福島県放射線治療研究会	
福島県消化器撮影研究会	平成 23 年 月 日 ()
福島県乳腺画像研究会	平成 23 年 月 日 ()
福島県CR研究会	平成 23 年 月 日 ()
福島県MR I 技術研究会	震災のため中止
福島県画像技術研究会	平成 24 年 01 月 日 (福島テルサ)
福島県CTビギナーズセミナー	震災のため中止

福島県放射線管理士部会

- ◎緊急被ばく医療活動に関する研修を実施する。
 - 1) 放射線管理士部会主催による研修会を実施する（年1回程度）。
 - 2) (財)原子力安全研究協会や福島県が主催する研修会へ参加する。
 - 3) 福島県原子力防災訓練へ参加または参画する。
 - ◎放射線診療や放射線被ばくに関する啓もう活動を実施する。
 - 1) 各自治体が開催する「健康まつり」へ参加する。
 - ◎放射線管理士部会の活性化を図る。
 - 1) 放射線管理士部会の入会を促進する。
- Ex. 県技師会のホームページやニュースに活動内容を掲載し、会員に広く知ってもらおう。

福島県臨床画像研究会 平成 23 年 06 月 25 日 (福島テルサ)

第5号議案 平成23年度 予算案

平成23年度予算案 (収入の部)

平成23年4月1日～平成24年3月31日

勘定科目 款 項目	予 算	前年度予算	差 額	備 考
特定資産運用益	5,000	5,000		
特定資産受取利息	5,000	5,000		
会費会費	6,660,000	7,190,000	-530,000	
正会員受取会費	5,850,000	6,350,000	-500,000	* 1
賛助会員受取会費	810,000	840,000	-30,000	
事業収入	1,450,000	700,000	750,000	
出版広報事業広告収益	150,000	200,000	-50,000	
学術研修事業広告収益	400,000	400,000	0	
研修事業収益	800,000	100,000	700,000	
日放技業務委託負担金	100,000	0	100,000	
受取補助金等	120,000	250,000	-130,000	
受取福島県助成金	120,000	250,000	-130,000	
受取寄付金	10,000	10,000	0	
雑収益	3,000	4,000	-1,000	
利子	2,000	3,000	-1,000	
雑収入	1,000	1,000	0	
繰入金収入	10,000	10,000	0	
特定資産振替額	10,000	10,000	0	
当期収入合計 (A)	8,258,000	8,169,000	89,000	
前期繰越収支差額	5,364,823	4,666,410	698,413	
収入合計 (B)	13,622,823	12,835,410	787,413	

*1	会員	563	¥10,000	¥5,630,000
	終身	2	¥10,000	¥20,000
	新人	20	¥10,000	¥200,000
		585		¥5,850,000

平成23年度予算案 (支出の部)

平成23年4月1日～平成24年3月31日

勘定科目	予算	前年度予算	差額	備考
款項				
目				
事業費	8,070,000	7,470,000	600,000	
学術研修事業費	3,700,000	3,400,000	300,000	
学術発表開催費	1,300,000	1,300,000	0	
生活習慣病検診従事者講習会	1,200,000	500,000	700,000	
学術委員会専門分科会	500,000	700,000	-200,000	
学術研修費	700,000	900,000	-200,000	
出版広報事業費	1,400,000	1,600,000	-200,000	
会報	600,000	800,000	-200,000	
ニュース	500,000	500,000	0	
通信運搬費	300,000	300,000	0	
啓蒙普及事業費	2,650,000	2,150,000	500,000	
放射線相談コーナー	150,000	150,000	0	
パンフ・パネル展	500,000	500,000	0	
一般講演会	300,000	300,000	0	
調査指導費	100,000	100,000	0	
災害教育訓練費	600,000	600,000	0	
ホームページ維持費	200,000	200,000	0	
原子力災害対策費	600,000	0	600,000	
広報・広告費	200,000	300,000	-100,000	新聞広告、各種イベント参加
分担金	120,000	120,000	0	
東北地区技師会	120,000	120,000		
管理費	4,000,000	3,450,000	550,000	
人件費	500,000	500,000	0	
人件費	500,000	500,000	0	
会議費	750,000	400,000	350,000	
総会費	600,000	300,000	300,000	
理事会費	100,000	50,000	50,000	
委員会費	50,000	50,000	0	
旅費交通費	1,650,000	1,450,000	200,000	
理事会旅費	600,000	600,000	0	
役員旅費	250,000	250,000	0	
委員会旅費	800,000	600,000	200,000	
需用費	1,000,000	1,000,000	0	
事務消耗品費	300,000	300,000	0	
通信運搬費	250,000	250,000	0	
什器備品費	300,000	300,000	0	
雑費	150,000	150,000	0	
厚生事業費	200,000	200,000	0	
厚生費	200,000	200,000	0	
事務所管理費	100,000	100,000	0	
賃貸料、公課等	100,000	100,000	0	
繰出金	950,000	950,000	0	
事務所拡充積立金	800,000	800,000	0	
学術奨励積立金	0	0	0	
減価償却積立金	150,000	150,000	0	
学術奨励基金	0	0	0	
予備費	602,823	656,355	-53,532	
当期支出合計 (C)	13,622,823	12,526,355	1,096,468	
当期収入合計 (A)	8,258,000			
前期繰越収支差額	5,364,823			
収入合計 (B)	13,622,823			
当期支出合計 (C)	13,622,823			
		収支差額 (B) - (C)		0

事務所拡充積立金（定期預金）

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥12,577,718	¥11,756,994	¥820,724	
前期繰越収支差額	¥11,757,718	¥10,936,994	¥820,724	
繰出金収入	¥800,000	¥800,000	¥0	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥20,000	¥20,000	¥0	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥12,577,718	¥11,756,994	¥820,724	

学術奨励金積立金（定期預金）

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥2,561,855	¥2,560,301	¥1,554	
前期繰越収支差額	¥2,555,855	¥2,554,301	¥1,554	
繰出金収入	¥0	¥0	¥0	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥6,000	¥6,000	¥0	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥2,561,855	¥2,560,301	¥1,554	

減価償却積立金（定期預金）

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥1,154,972	¥953,848	¥201,124	
前期繰越収支差額	¥999,972	¥798,848	¥201,124	
繰出金収入	¥150,000	¥150,000	¥0	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥5,000	¥5,000	¥0	
支出の部	¥0	¥0	¥0	
繰入金支出	¥0	¥0	¥0	
積立金残高	¥1,154,972	¥953,848	¥201,124	

学術奨励基金（普通貯金）

科目	予算	前年度予算	差額	備考
収入の部	¥221,524	¥231,469	¥-9,945	
前期繰越収支差額	¥221,324	¥231,269	¥-9,945	
繰出金収入	¥0	¥0	¥0	
寄付金収入	¥0	¥0	¥0	
雑収入	¥200	¥200	¥0	利子
支出の部	¥10,000	¥10,000	¥0	
繰入金支出	¥10,000	¥10,000	¥0	
積立金残高	¥211,524	¥221,469	¥-9,945	

6号議案 その他